

# タムラサトル

Tamura Satoru Exhibition

## 開放的な接点

Open Points of Contact,

## 発電所にて電力を浪費する

Wasting Electricity at the Power Plant.

Point of Contact #8.

2025. 10.4 Sat - 2026. 3.15 Sun

時間: 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 月曜日、祝日の翌日、2025年12月22日(月)-2026年1月9日(金)

[入善町公式サイト内の発電所美術館紹介ページをご確認の上、ご来場ください。](#)

観覧料: 一般600円、高校・大学生300円、中学生以下無料

OPEN: 9:00-17:00 (Admission is until 16:30)

CLOSE: Mondays, the day after national holidays, and between December 22, 2025 - January 9, 2026

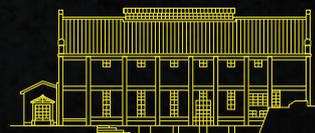
Please check the page for the Nizayama Forest Art Museum on Nyuzen Town's official website before your visit.

ADMISSION: Adults 600yen, University & College and High School Students 300yen, Junior High School Students & Younger Free

主催: 公益財団法人 入善町文化振興財団 後援: 北日本新聞社

協力: TEZUKAYAMA GALLERY, MAKI Gallery 助成: 公益財団法人 花王 芸術・科学財団

入善町  
下山芸術の森  
発電所美術館  
Nizayama Forest Art Museum



〒939-0631 富山県下新川郡入善町下山364-1  
TEL (0765) 78-0621



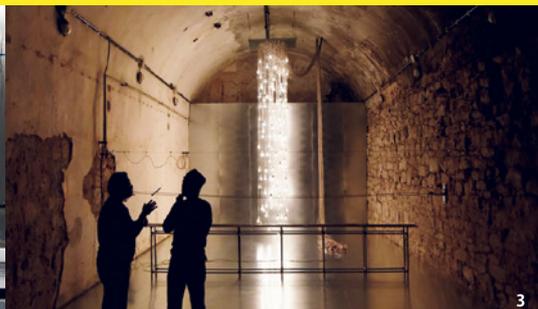
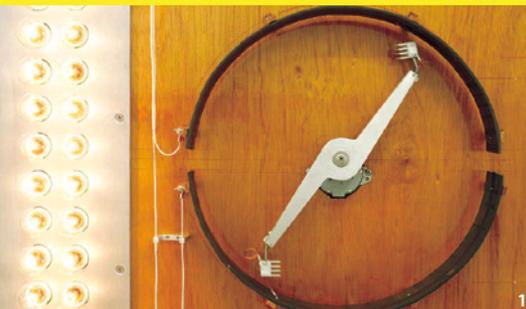
「Domain of Art 32 タムラサトル Hi, Kumi, Hi, Mike.」展 2024年 プラザノース ノースギャラリー 撮影：金田幸三

# タムラサトル 開放的な接点 発電所にて電力を浪費する

Point of Contact #8

2025.10.4 Sat - 2026.3.15 Sun

作家を始めた頃は、モータで動く作品を多く制作していた。その制作過程では、トライアンドエラーで動作チェックを何度も繰り返す。テストランをする時には、まだ作品の構造が完璧ではないため、スイッチの代わりにプラグをコンセントに抜き差しすることもあった。たまたま、暗所でテストランをすることがあり、プラグをコンセントに入れた。安全性の面から徐々に減ってきているようではあるが、コンセントの穴には蓋がないことが多い。その瞬間、穴から青白いスパークが見えた。通電が可視化され、「いま電気が流れた」と、はっと息を呑んだ。そのスパークは、単なる通電ではなく、なにか特別なものに見えた。またあのスパークが見たい。この感覚を作品化していこうと考えた。日本では通常AC100V~200Vが流れ、あらゆる電化製品を動かしている。あらゆるところに電気回路が張り巡らされているのだ。見方によっては危険だが、それが安全にしっかり制御されていることに驚く。様々な形のスイッチでコントロールされている。本来、そのような電気回路をON/OFFするスイッチは、小さく閉鎖的で、耐久性があり安全性が保たれている。そのスイッチの構造を、あえて開放的で大袈裟な仕組みにしてみたらどうだろうか。そうして、この《接点》は始まった。水力発電所をリノベーションしたこの美術館で、電力を浪費する《接点》を設置することは皮肉であり滑稽だ。が、造形的には完全にはまっている。



1.《90の白熱灯のための接点》部分 2023年、2.「ぐるぐるポカン ～まわる！はする！つるおかの自然」2010年 鶴岡アートフォーラム 撮影：木暮伸也、3.6.「INTERNATIONAL LIGHT ART AWARD 2017」CENTRE FOR INTERNATIONAL LIGHT ART UNNA(Germany) © Frank Vinken / D-Düsseldorf、4.《前橋マシーン》2025年、5.「ワニがまわる タムラサトル」2022年 国立新美術館 撮影：金田幸三

## タムラサトル Tamura Satoru [tamuraatoru.com](http://tamuraatoru.com)

1972年栃木県生まれ。1995年筑波大学芸術専門学群総合造形卒業。現在、日本大学芸術学部デザイン学科非常勤講師、武蔵野美術大学造形学部彫刻学科非常勤講師。「まわるワニ」、「後退するクマ」、「登山する山」、「粉々にくだけるプラスチックモデル」、「最終的に燃える洗濯機」、「バタバタ音を立てる布」、「端数がない重量の彫刻」、「開放的なスイッチ」、「動き続ける図形もしくは文字」、「10回たたく装置」、「空間を最大限に使用しただけインストールション」「中1英語教科書のセンテンスを彫刻にする」などを制作・発表。

- 2021 「TOKYO マシーン」銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM(東京)
- 2022 「ワニがまわる タムラサトル」国立新美術館(東京)  
「キックオフ・プロジェクト成果展1」トシになる タムラサトル」栃木市立美術館(栃木)
- 2023 「ワニの90回目のパースパーティーへ行く」代官山 T-SITE GARDEN GALLERY(東京)
- 2024 「Domain of Art 32 タムラサトル Hi, Kumi, Hi, Mike.」  
プラザノース ノースギャラリー(埼玉)、「無目的な機械」DH Neology(台南、台湾)



### 【アクセス】

#### お車をご利用の場合

- ・北陸自動車道 黒部ICより約15分
- ・北陸自動車道 入善スマートICより約5分 \*ETC車のみ

#### 公共交通機関をご利用の場合

- ・JR 東京駅→(北陸新幹線)→黒部宇奈月温泉駅 約2時間25分
- ・JR 金沢駅→(北陸新幹線)→黒部宇奈月温泉駅 約35分
- ・JR 敦賀駅→(北陸新幹線)→黒部宇奈月温泉駅 約1時間35分

#### 最寄り駅等から

- ・黒部宇奈月温泉駅より タクシーで約15分
- ・入善駅より タクシーで約10分
- ・入善観光案内所より レンタサイクルで約30分

入善町  
下山芸術の森  
**発電所美術館**  
Nizayama Forest Art Museum  
〒939-0631  
富山県下新川郡入善町下山364-1  
TEL (0765) 78-0621

※掲載写真と実際の展覧作品は異なる場合があります。※掲載写真、文字などの無断使用、転載等は固くお断りします。※やむを得ない事情により、展示内容を変更または中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください。